

感染症拡大予防ガイドライン

アルカディアスポーツセンター

1. 入館時の注意事項

(1) 検温の実施

- ① 入館者に対しては入館前もしくは、入館時に検温を実施し、平熱より1度以上高い発熱がある場合は、入館をご遠慮いただく。

(2) 受付簿の作成

- ① 検温した入館者は、受付で氏名・住所・連絡先・体温を個票に記載して提出する。

2. 3密の回避

(1) 密閉の回避

- ① トレーニング室・更衣室・レッスン室等の各施設を利用する際には、およそ1時間に1回、5分程度換気を行う。
- ② 長時間の滞在を避けて、窓を開放したままで利用できる場合は、常時開放して利用する。

(2) 密集の回避

- ① 施設の同時利用人数の制限を設ける
 - ・ 体育館 上限50名
 - ・ トレーニング室 上限13名
 - ・ プール 上限30名
 - ・ レッスン室 上限15名
 - ・ 更衣室(男子) 上限20名
 - ・ 更衣室(女子) 上限20名
- ② 教室事業等は、人数制限に応じた規模の事業等のみ開催する。なお、人数制限をしても十全な感染防止対策が取れない場合は開催しない。

(3) 密接の回避

- ① 最低1m(マスク着用のない場合は2m)の対人距離を確保する。
 - ・ トレーニングマシン等の配置間隔を約1m以上確保し対応する。
配置間隔が1m保てない場合は、台数を制限し間隔を確保する。
- ② 近距離での会話や発声は避けて、ロビー等の共有スペースで長時間滞留をしない。
- ③ 休憩する際には、他の人との間隔を確保する。

3. その他の感染防止策

(1) マスクの着用

- ① マスクの着用については、職員が遵守するとともに、利用者にも遵守

させる。

- ・利用者は原則マスク無しでの利用は禁止とする。
- ・運動時やプール入水時など、マスク着用が困難な場合、必ず2m以上間隔を空ける。

(2) 手洗い・手指消毒

- ① 利用者には、利用前、トイレ使用后、ロッカールーム使用前後に備え付けの消毒剤や自前の消毒剤にて手指の消毒等を実施してもらう。

(3) 体調管理

- ① 職員の体調管理については、毎朝検温を実施し、発熱や軽度の風邪症状(せき、鼻水、喉の痛み)、嘔吐、下痢の症状がある場合は出勤しない等、徹底した体調管理に努める。
- ② 利用者は事前に検温し、発熱や軽度の風邪症状(せき・鼻水・喉の痛み)、嘔吐・下痢の症状がある場合は、利用しない。

(4) 清掃・消毒

- ① 複数の人の手が触れる場所は、利用後に利用者及び職員が消毒用資材を使用して清拭消毒を行う。(スイッチ・ドア・蛇口・便座・トレーニング器機、施設備品等)
- ② 清掃時に使用した用具の持ち手等は、使用後に消毒する。
- ③ 清掃した後は、石鹼等で手洗い、手指消毒を行う。
- ④ 清掃に使用したペーパータオルは、ビニール袋に入れて密閉し、設置してある専用のごみ箱に入れる。

(5) トイレの衛生管理

- ① トイレの使用後は、必ず便器のフタを閉めてから水を流すよう表示する。
- ② 不特定多数が接触する場所(便座、スイッチ、洗浄レバー等)は定期的に清拭消毒する。
- ③ ハンドドライヤー、共通のタオルの使用は禁止する。

4. 施設毎の注意点等

(1) 利用について

- ① 当面の間、町内在住者のみの利用に制限する。
- ② 滞在時間については、入館から退館までを2時間程度とする。
- ③ 利用者においても、事前にできる感染予防対策を行う。
- ④ 近隣地域の感染状況を確認して、順次利用制限を解除する。

(2) 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の対象地域の在住者に対する利用制限

- ① 緊急事態宣言の対象地域の在住者の利用を制限する。
- ② まん延防止等重点措置の対象地域の在住者の利用を制限する。